

いわき市議会議員・公認会計士

吉田みきと

昭和44年3月いわき市平生まれ。平三小・平三中・磐城高校を経て、シンガポール国立大学修士課程(MBA)卒。公認会計士として、中央監査法人入社。世界4大会計事務所であるプライスウォーターハウス・コーパースにて、上場企業の経営ノウ

ハウを学ぶ。シンガポールで日系企業進出を支援。帰国後、東日本大震災を天命ととらえ、2012年にふるさといわきに戻る。現在、数字が読めるいわき市議会議員(2期目)として、いわきの復興とさらなる発展のためにまい進中。

いわきが「選ばれるまち」になるために。

公共事業の財源は、市民ひとりひとりが納めた税金です。それを将来役に立つ“資産”にしていきたい。



名称決定！ 防潮堤サイクリングロード

ななはまかいどう

いわき七浜海道



ここにアプローチ！
新たな観光資源にするために



恵まれたロケーション。大津波発生時のみならず、平時から活用することが望めます。

東日本大震災の津波被害対策から、建設が進められていた防潮堤を、平常時でも役立つ「遊歩道」「サイクリングロード」として活用することを提案して参りました。それがやっと形となってきました。

防潮堤と一般道をつなぐ全長50kmにもおよぶ道で、おそらく日本で一番海辺に近い自転車道です。

防潮堤の特性を活かしていわきの観光資源・健康資源に育てましょう！



「情報収集の網を広げ、行動範囲を広げ、迅速な意思決定と行動をしていきたい」との思いから、無所属の会として独自の活動を開始しました。これまで通り、本会議では一般質問等を通して、いわき市が選ばれるまちになるための施策を提案して参ります。

思うところあって。

無所属の会

立ち上げ！

みきと通信

市政だより Vol.8

発行者：吉田みきと後援会

吉田みきと公式サイト <http://officey.biz/>

後援会
事務所

〒970-8026
福島県いわき市平字愛谷町2-1-2

☎ 0246-88-7855

✉ mail@officey.biz



よかったら
友だち登録
してください！



☎ 0246-88-7855

「みきと通信」の感想、市政へのご意見など、お気軽に市民の皆さまの声をお聞かせください。



いわき市医療センター 2018年12月25日開院！

13階建ての病院棟に新築し、名称を「いわき市医療センター」として開院しました。開院を機に、市民の皆様にも「いわき市の抱える医療問題」について考えていただければと思います。

+ 新たに

できるようになったこと

実現①

最新医療が受けられるように

実現②

大規模災害時の拠点となる

実現③

外部から医師を
しょうへい
招聘しやすい

+ ただし

今後の課題も多く残されている

課題①

多大な借金を背負ってのスタート

課題②

毎年の赤字経営

課題③

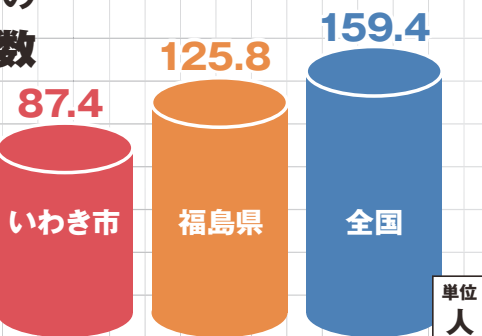
今後の医師招聘に
しょうへい
どれほど有効か？

参考資料



人口10万人あたりの
病院勤務医数

全国平均より
5割少ない



中核市の
医師平均年齢

ファースト1位

43位

1位 (同率一位) 大津市 高槻市 久留米市	42位 高崎市	いわき市
44.8歳	54.5歳	55.5歳

医師の高齢化が全国一進んでいる

提案!

— solution —



医療センターができること

経営を専門化させ
経営体質を変えていく

病院経営のプロフェッショナルを招聘し、市職員も異動を抑え、腰を据えて経営に取り組めるようにする。

ドクターの研修・医療活動
医師招聘を全面支援!

医局に適正な研究活動費と交通費交際接待費を持たせ、自己研鑽やドクター同士の交流を支援。

地元学生が医療従事者を
目指したくなるように!

積極的に学生と医師の交流の場を設け、“カッコイイ”と思える若手医師を育成する。

そして…私たち市民ができること

大きな病院や交通の便の良い大都会ではなく、このいわきを選んで来てくれた医師に感謝すること。そして、医師と地域との良好なコミュニケーションで信頼関係を築いていくことではないでしょうか。

その実践に挑戦しているのが、2016年から活動している「いわきの医師を応援するお姉さんの会(宮野由美子代表)」です。私も地域医療向上の観点から、事務運営のお手伝いをさせていただいています。



① いわきの医師を応援するお姉さんの会